

私のジャパン・スマイル

柴田 啓嗣

(柴田商事企画部長)



（右）パーティで友人夫妻と筆者

ロンドンでは、生活習慣の全く違うことにとまどつことが多かった。思うに日本は、あまりに国際化しきてしまっている。生活のマナーにしろ、服装にしろ、あらゆる面で雑多の國の様式が入り混じり、かえって、そのなかで本当のものをつかむことが困難になつていて。その点イギリスはまだ、人々が堅固とした自分たちのやり方で生活を続けている。だから外来者にとつてはとまどうことが多い。

ロンドンに着いてまもない頃、私はまだ人々の話す英語もよく理解できず、失敗ばかり重ねていた。

若い友人たちのディナー・パーティに、私も招待されていた。ガールフレンドと一緒に来いよ、といわれていたけれど、気軽に同伴できる女友たちを、まだ私は見つけていなかった。パーティには、フランスやハンガリーの国籍を持つ人たちも集まっていて、彼らはいかにも楽しげに飲んだり語つたりしていた。

私は会話を加わる英語の自信もなく、みんなの話しぶりを

聞いてただニコニコしているよりしかたなかつた。それでも、こうやって若い仲間たちと同席して過ごす時間に満足していた。しかし彼らにとつては、なかにひとり会話に加わらないものがいるということは、気づまりのタネであったに違いない。ひとりが、「おまえはなんでそんなふうに黙っているのか？」と尋ねてきた。

私はそれにもうまく答えることができず、やはりただニコニコしているだけだった。

別のひとりが、

「おもしろいアニマル（彼はそういつた）がいると思つて見てんだろう」という。これは明らかに嫌や味だ。私は何もいいようがなかつた。

パーティで、ただ黙つてニコニコしているというのは全く礼儀に反する。パーティの楽しい空気をこわすものだ。それがわかつていながら、私は自分の気持ちを伝えることができず、そんな自分にいらだつっていた。私にはパーティの雰囲気をこわす氣なんか毛頭なかつたのに。

パーティを引きあげると、くやしさがどつとこみ上げてきた。日本語がむしょうにしゃべりたくなつて、帰り道、大声で日本の歌を歌うと、涙がこぼれてきた。

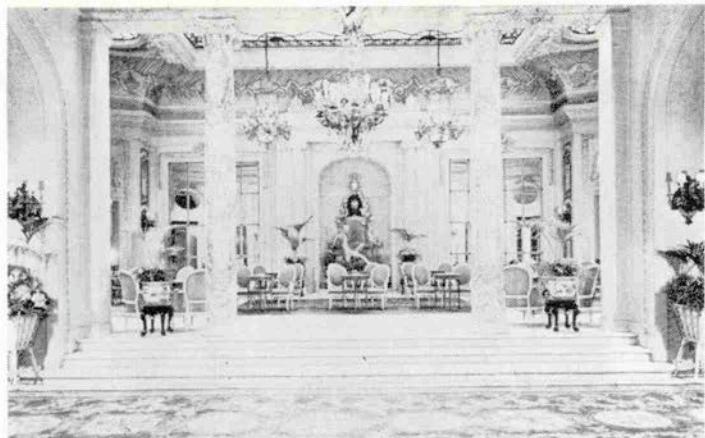
日本人だから、英語をベラベラしゃべれなきやいけない、といふことはない。ないけれど、ディナー・ジャケットを着てパーティに出るということは、そういった場でのマナー、ルールに当然従うということだ。こちらは日本人だから、といって日本流のニコニコ社交で通せるというのではない。いちおうのカッコウを整えて参加するからには、それなりの内容を持つていて当たりまえ

とき、私はこんなふうにいうことにした。

「僕はこの沈黙を楽しんでいるんです。今、君たちと一緒にいて話を聞いていることがすごく楽しい」と。

すると彼らは、ベラベラしゃべって悪かった、と恐縮し、私のために少しテンポを遅くして話してくれる。別れるときには、今日のパーティは国際的でとても楽しかった、と私にも握手を求めてくる。

難しい言葉を使えるかどうか、ではなく、相手を不快にしない心づかいと言ひ回しを考えることだ。こういった発想は実地に慣れて学んでいくしかない。



イギリスで最も紅茶のおいしいリツツホテル。イギリス人は紅茶にうるさく、本当の紅茶というものは日本人の感覚からいえばとてもウスイ。ミルクを入れると紅茶の味がわからないほど。濃い紅茶はローリィ・ティといってジャリトラの連ちゃんの飲むもの、とされている。

イギリス人はたいへん社交好きである。そのやり方で洗練されている。仕事のうえでのつきあいも、夫婦単位で家庭に招待し、奥さんの手料理で歓待するのが最高のもてなしである。

パーティで、食事を終えると、女性たちはそろつて隣りのゲストルームに移り、男性はそのまま食事のテーブルにとどまるというのが習わしになっている。男性連はチンザノのような酒をまわし飲みしながら、仕事の話などを進めるのだが、この席で、今まで女性と食事をする間、すましきっていた男性が、うつてかわって勢いこんでエッチな話を始めるというのも、これまた常である。この男性だけの会話のなかでは、女性のことをバード（小鳥ちゃん）と呼ぶ。いかにも女性を軽くあしらっていふといつたふうな、この呼び方は、ふだん女性に押さえつけられているロンドン紳士の無力な抵抗ではないかと思つてゐる。

いいかげん男だけの好き勝手な話をしたのち、再びすました顔の男性たちは、バードたちの待つゲストルームに移る。

九ヶ月のロンドン生活で、その後半になつても、相手にペラペラまくしたてられると言葉がわからないということはよくあつた。しかし、パーティでまたしても会話を乗りきれず、ニコニコ聞いているしかないような

ところで、女性たちは、別室で女性だけの話に花を咲かせているとき、彼女たちも男性に劣らないほどのエッチな話をしているんじやないだろうか、と憶測するのは私だけだろうか。

● 福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

世界の福祉施設

—— 欧米の心身障害者を訪ねて ——

橋本 明著 〈カラー8ページ、本文320ページ、定価 1000円〉
〈社団法人家庭養護促進協会事務局長〉

送料 200円



各書店で好評発売中！

振替口座

神戸四五九六

主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニック
- グッドウイル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースターグランドペアレンント
- ファーストアベニュー・
- サービスセンター
- ボランティア・ビューロー
- 病院におけるボランティア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スポック博士の子供博物館
- アビリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルルドを訪ねて
- コベンハーゲンの老人の町
- ベーテル——西ドイツの障害者の町（ドイツ）
- ヘット・ドルブ——未来を拓くオランダのコロニー（オランダ）

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル7F TEL(331)2246

★神戸の集いから

□神戸のパリ祭

夜は更けて

7月14日はパリ祭。神戸でも例年開かれる日仏協会の主催でパリ祭のパーティが7月14日の夜、相楽園会館で開かれ、約500名近い人々が集まつた。

フランスと日本の国旗が鮮やかに飾られた室内は、国際親善パーティとあって、各国の人々が、夏の夜の装いをこらして集まり、華やかなムード。

一年に一度の交流会は、シャンソンが流れ、食べて、雑談するというシンプルパーティだった。



国際色ゆたかなパリ祭



「生田いまむかし」のパーティ風景

□「生田いまむかし」発刊を祝い二百人が集う

7月4日午後四時から生田神社会館にて生田区誌「生田いまむかし」発刊記念パーティが開かれた。同誌は生田区振興連絡協議会（竹馬準之助会長）が編集発行したもので、区誌としてはこれまで

にない豪華なもの。会長が「生田区の永遠に残る記念誌として自負する」とあいさつすれば、来賓の狩野神戸市助役も「すぐれた取材、りっぱすぎるほどりっぱ」と絶賛。柴田生田区長の音頭で乾杯、和やかなパーティであった。

オリエンタル急行で訪ねる東欧の香り
申込金￥50,000 (定員30名/ローン可)

⑥ニュージーランドの旅

I ニュージーランド 1周12日
昭和50年8月24日(日) 9月14日(日)
11月2日(日) 12月28日(日) 昭和51年2月8日(日) <全行程3食付>￥538,000

II オーストラリア・ニュージーランド
ラロトonga・斐ジー14日

昭和50年10月5日(日) 12月28日(日)

昭和51年2月8日(日)

<全行程3食付> ￥615,000

取扱い 日本旅行 神戸中央営業所

神戸市生田区元町通1丁目8 ☎321-4531

★お問合せ、お申込みは神戸っ子トラベル係

☎331-2246

★神戸っ子トラベルコーナー〈I〉

●ユニークな海外旅行いろいろ

④東アフリカ・サファリへの旅

昭和50年12月26日～51年1月11日 (17日間)

￥650,000

定員12名 (サファリバス2台)

〆切50年10月31日

エスコート／福岡康年 (アフリカスペシャリスト)

⑤ロッテルダム号 (オランダ客船38,000トン) 船旅バハマック (51年3月8日) バタヤビーチ避暑地→ロッテルダム号→香港 (51年3月14日)

→広州1泊2日のツアー予定中→神戸港 (51年3月20日)

￥650,000ファーストクラスバス付

定員20名申込み〆切 昭和50年12月30日

⑥ブリセンダム号 (オランダ船1万トン) 船の旅

香港 (51年4月29日連休初日) →基隆 (51年5月2日) →神戸 (51年5月5日) ￥250,000 ⑦グレイド

定員30名申込み〆切 昭和50年12月30日

⑧～⑩ともに取扱代理店は

ドッペルウェルトラベルサービス／神戸 (251)

0021 大阪06 (443) 8722 東京03 (211) 2141内線754

★お問合せお申込みは神戸っ子トラベル係へ
TEL078 (331) 2246

⑨ヨーロッパ冬の旅

新年をローマで迎えよう

'75 12月20日～'76 1月10日 (22日間)

￥348,000

東京→アテネ→イスタンブル→ソフィア→

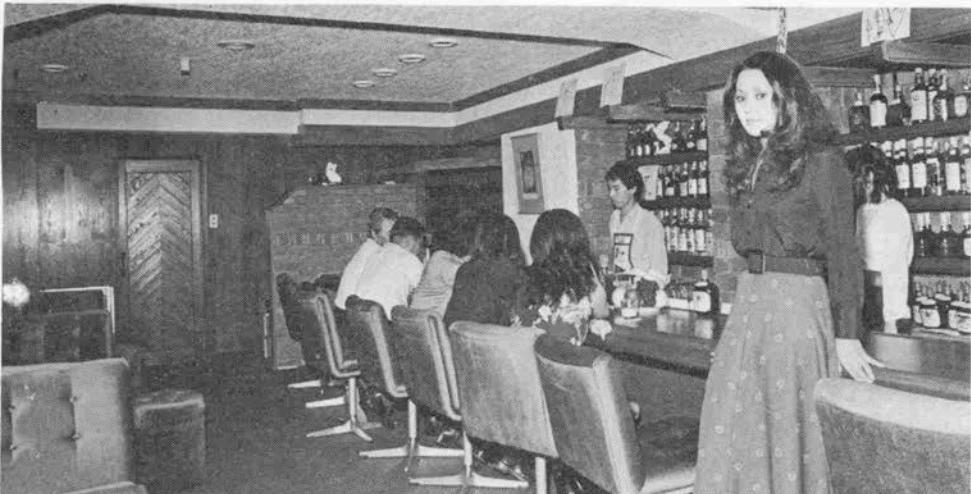
オグラード→ヴェニス→フローレンス→ローマ

→マドリード→ジュネーブ→パリ→東京



SALON
KOBEJIDAI

“神戸時代”ちょっと変った名前ですが新しい神戸時代を目指したサロンです。北野町・山本通界わいのファッショナブルなサロン—神戸っ子の憩いの広場。談論風発のサロンにもなり、ミニパーティがひらかれたり、ミニ発表会が行なわれたり素晴らしい情報交換の場になります。



SALON 神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28
モンシャトーコトブキビル1F
TEL. 242-3567



蟹料理の店

かに料理の店



婆
ばさら
婆
ばさら

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ
078(321-6363)

熟練の調理士が
新鮮な材料をぜいたくに使い
新しさを加味し盛りつけます。

山海の滋味ゆたかに季節を
盛りあげます。

但馬水軍船料理

◆1・2階

かに料理の店 直営店



心に沁むる KOBE

元ブラ賛歌^(上)

あおばしげる

↑↓
11



明治30年ごろの元町5丁目



昭和初年の元町4丁目

★鈴蘭灯が“元ブラ”の愛称の
生みの親

戦後になって三宮が神戸市第一の繁華街となり、センター街の人通りが急増し出してから、戦前神戸の最も代表的な大通りだった元町通りの影が薄くなつた感じだが、その後したいに立ち直り、今日ではセンターハー街と肩を並べて神戸市東西の両横綱となつたことはご同慶のいたりである。とりわけ、昔のすばらしい元ブラ（元町を歩くこと、ブラつくこと）を試みた経験のある人々にとってはこのうえもなくなつかしく、かつうれしい回復ぶりである。

しかも近代的なモードとしにせ（老舗）としての落ち着きが併存している点では、さすがに戦前東京の銀座（銀メラン）と大阪の心斎橋筋（心ブラ）と並んで日本の三大メイン・ストリートとうたわれた名物通りとして、戦後派のセンター街その他の大通りなど、とても及ぶところではない。元町に集まる、静かだが、充実した人氣は日増しに高まりつつあり、このうえにセンター街以上の人出が見られるようになれば、鬼に金棒である。いや、人出も近頃にわかにふえつてあるから、そのうち名実ともに神戸一、さらに日本一のハイカラでしゃれた元町通りが再現するのではないかと思う。そうなれば、元ブラも昭和初期の、あの心楽しく、いつも行き交う人々のすべての目が新時代の風物への期待とあこがれに満ち、元ブラを誇りと感ずる人気が再び戻つてくることはまちがいなし——といいたい。

ここらで元町通りの古い歴史についてあらまし紹介しておこう。元町通りは江戸時代の西国街道のことと、元町という名前が生まれたのは明治七年五月二〇日からである。神戸開港を機に、全国から人が集まりたたく間に家がふえたため、だれいうとなく、「この辺は神戸の元の町や、元町や」と呼ぶようになったのが原因であ

る。開港後、元町は外國艦隊の兵士や外交官などに提供された居留地を東に隣接、この頃からハイカラ・ムードが街の特徴となつてゆく。その新しい文化商売の現われとして、早くも明治三年に神戸村に市田左右太が市田写真館を開き、同じく元町とは因縁の深いせんべいもち（瓦煎餅）が売り出されたのもこの年。明治六年には元町六丁目に神戸ではじめての、いや日本でもまだ珍しかった牛肉屋の「月下亭」が開かれた。木造三階建てで、店頭で農具のクワを鍋の代わりに使つた肉鍋を売っていた。一方学校もこのあたりに開校され出す。元町三丁目にすでに神戸ではじめての洋学伝習所ができ、米国人ビキローが教務にあたつた。明治六年二月には元町三丁目に神東小学校が、元町四丁目に神西小学校ができ、それまでの寺小屋は姿を消した。この両校が、現在の神戸小学校の前身である。同七年になって女性の丸マダゲが多く見られるようになる。三菱会社神戸支店某氏の妻女が東京から持ち帰つた結髪法だといわれ、注目を集めめた。神戸で最初のキリスト教会が誕生したのも同年であるが、当時は「組合教会」と呼ばれた。

明治三〇年頃になると、居留地に住む外人のために、ユニークな広告がふえた。居留地や元町通り、そのあたりの街々の電柱やガス灯、また鉄輪の人力車がいたるところに見られるようになつたのも明治調である。また、通行人などに「みかん水」を売る屋台店が見られたのも、明治生まれの神戸っ子にとってはなつかしい思い出だろう。

大正になると、新しい時代の流れは元町通りをさらに新装する。まず元町通りにアスファルトが敷かれて近代化への第一歩が力強く踏み出される。つづいて第一次世界大戦による「大正景氣」が元町にも到来、元町を行く人々の表情にも活気があふれ出す。大正五年頃から夏には道行く男性たちの間に「カンカン」帽が流行し出したのも昔なつかしい風景。女性の洋装がふえ出るのは大正

も末頃からである。明治末から元町通りの店頭に英字がめだつようになつたことは前に書いたが、大正中期ともなると、看板文字や広告の仕方や宣伝文もようやく派手になつてきたが、店舗の階上いっぽいにおおうような大模型（鯛＝タイ＝や時計、糸巻き、クジャク）などがとりわけ人々の注目を集めたものだ。大正一〇年三月に行なわれた神戸開港五〇周年記念祝賀には、元町の全店が軒先に市章入りの記念ちようちんを吊つて祝い、元町通りには祝賀の時代行列や芸妓の三味線の列が相ついで通り、花やかな気分を振りまいて、道行く人々を喜ばせるとともに、新開地大通りと並ぶ神戸のメイン・ストリートとしての元町通りへの神戸市民の認識と共鳴を深めるようになつた。さらに明治、大正初期から神戸名物となつた元町の「誓文払い」（せいもんぱらい）はその後も毎年一月に行なわれて、年々元町通りの買い物客をふやすようになり、一举に元町を通る人数増加の大きな要因となつた。

このようにして、時代は昭和期を迎えるわけだが、元町の通行人の気持ちの中に、実用的な目的からだけではなく、なんとなく元町通りをそぞろ歩きしたくなつて歩くようになる、いわゆる眞の意味での元プラ・意識、あるいはムードがめだち出したのは昭和の初め頃からだと思う。もちろん、大正時代中期から末まではその準備時期だったといえるだろう。そのムードづくりの第一に大正十五年に元町通りの一丁目から六丁目まで各所に二百基も設けられた有名な鎧蘭灯があると思う。当時の金で一千五百円もかかつたというから、べらぼうな巨額である。だが、この当時としては破格のセンスのある町の電飾化によつて、元町通りの名はそれまで以上に近代的な目で市民、いや全国の人々から見られるようになつたし、そんなムードのある街をそぞろ歩いてみたいという人々がぐつとふえたことは事実である。この時こそが「元プラ」の愛称の「誕生日」だったといつてよい。

うわの空

——日本人の車はくつ——

竹田 洋太郎（在ニューヨーク）

え・たかはし もり

話は横道へ外れて、といつても、もともと横道の話ばかりだが、最初の話は「アメリカの車はどうしてこんなにキタナイか」だった。

なぜキタナイか。つまり西部へ向かう幌馬車や駆馬車にキレイではなく、キタナク、頑丈で、荒々しい男たちが乗りまわるものであれば、それでいいからだ、と結論させていただいた。だが、これだけでは間違い。若い人たちや、バンカラ（これは米国にもいる）の乗っている車、ニューヨークやその周辺のサラリーマンの一部は、キタナイ車を平気で乗りまわしているが、ここで「アメリカでは」と一般化するのは危険なのです。

ニューヨークを東へ、ロングアイランドのナッソウ郡やサフォーク郡の住宅地のガレージにはいっているような車は、キタナイどころか、ピカピカの高級車で、ホコリをかぶっているのを見ると、歐州車のビンテージ・カ

ー、ニュージャージー州の中流住宅地の道路にとまっているのをみても、キタナイのは五つに一つ。あとは古くても手入れが行き届き、目立つのは日本では姿を消した、角張ったスタイルのトヨタコロナ。

米国の車の平均寿命は日本の二倍以上。車をクツのように「はき捨て」しているのは日本なので、米国の方が車を長持ちさせている。その点からいえば、日本人が「キレイ」というのは「新しい」ことで、逆に歴史の新しい米国の方が「キタナイ」車、つまり古い車に乗っているということになるわけでしょう。

どうも話がおかしくなって「自動車は米国人にとってゲタか」という問題から始めて「自動車は日本人にとってクツである」という結論に達したわけで、実は筆者である私も驚いている。

もう一つの命題（というと大袈裟だが）である「自動車は日本人にとって乗物——つまり扉つきの駕籠」といふ方だが、これを裏付ける一つの原則がある。それは、人間は自分が理想とする、あるいは、あこ

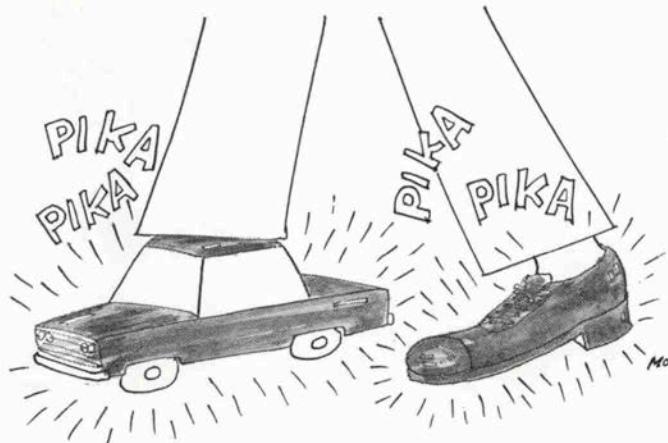


れる人たちやその階層のマネをしたがる、ということ。

建設省関係で調査をやっている人に聞いた話だが、日本人が自分で持つたがっている家の構造は、いかにもモダンなデザインで、セントラルヒーティングがつき、庭の一角にゴルフの練習用のネットが張つてあるうとも、根本的には、日本の農村の地主さんの住む中型以上の農家と変わらない、というのである。

自分で家を持つ以上は、むかし自分の家と田畠を持つていた地主と同じようにやりたい——すでに農地解放ですべてが地主となつても、家の構えがちがうのは腹が立つ。ムスコまたはムスメのムコがサラリーマンになつて

新品の車より、よく手入れした古い車の方が「はきよい」。



一応家を建てるとなると、年寄りの意見をことさら聞かなくとも、都会の二世の頭の中には、村の家々を見下していた地主の家のイメージがこびりついている。その典型は、田中前首相が新潟県の故郷に、お母さんのために建てた總松造りとかいう日本建築である。

アメリカに住んでみて、家具屋さんで驚いたのは、赤と金色で飾り立てた、複雑な浮彫りのついた、日本人なら悪趣味のチャンピオンとしかいえない家具。車の内装にも、ステレオのケースにも同様なのがあって、これらを総称して「メディテレニア」(地中海風)という。

もちろんニューヨークの周辺には、イタリア、ギリシ

ア、ラテンアメリカ出身の人たちが実に多いが、この人たちがつまりメディテレニアのお願い客だ。

これも田中さんの邸宅と同じことで、米国へ移民としてやってくるまえ、彼等の住む町や田舎の大地主——同時に貴族の称号を持っていることが多いが——のお屋敷の客間の十八世紀か十九世紀の室内装飾の「キンキラキ」が彼らのあこがれ。それがプラスチックであろうと合成繊維であろうと、同じようなものを自分の客間や寝室にもち込めるのだから、これが生き甲斐ということになつたのである。

さて、駕籠についても同じ。乗物といわれる塗りの駕籠は、維新前は、しかるべき階級の人間しか乗れず、町人は金持ちでも、粗末な竹や木とタタミのものに乗つていた。

今は変つて、これに当たるのが、運転手付きの会社、あるいは役所の車。日本の会社の社長が年をとつてヨボヨボになつても(なればなるほど)社長をやめたがらないのは、社の車と運転手が手放せないからといふ。黒い車に、ピカピカのクロームがついたのは、黒塗りに真ちゅう金具の光る乗り物と共通した威儀がある。乗用車の中で、黒や地味な色の圧倒的に多いのは日本だから、この理屈は間違いないと思いますがねえ。



S F 映画と人間サマ

淀川 長治（映画評論家）

映画が生れて八〇年。その映画すなわち大活動写真的元祖こそがS Fなんだ。

映画とS Fは切っても切れぬ深い仲。そのS F映画について書けとは、つまるところS F映画その今日までの題名を書くだけでこの二頁おしまいということだ。

まあそれくらいS F映画は多く、その本格第一号こそが今をさる七十三年、リュミエールなる兄弟の発明とフランスの誇るその活動写真を用いてここにジユルジュ・メリエスなる奇術師兼写真師兼興行師えとせとらのその男が、全三十場、映写時間九分の大長篇『月世界旅行』（一九〇二）を発表したるが始まりのハジマリ！

当時は五分の映写をもつて常識とした。それが九分といふことはまさに今回の三時間四十分級の超大作。かの有名その名を今に伝えたるアメリカ大活劇第一号「大列車強盗」（一九〇三）にしてからに、その上映は八分のそ

の場数（ばかり）は十四場。

というわけで活動写真こそはトリックの面白さ。これには小説も芝居もかなわねえ。そこでS Fは早くも連續大活劇に仕組まれて『殺人光線』「見えざる手」あるいはハアリイ・ホウデニー主演の『人間タンク』（一九一九）大正八年の神戸新開地でこの今のロボット活躍の科学興味を早くもたんのう。

さて少しくタイミングをとばしドイツ映画フリッツ・ランク監督『メトロポリス』（一九二七）の人造女性。あるいはイギリス映画ウイリアム・キャメロン・メンジイス監督

督「来るべき世界」の未来戦争。かくてアメリカも空に海に地下にと「キング・コング」にいたるまでそのS F映画は「二〇〇一年宇宙の旅」のその二〇〇一の本数くらいを数えあげられるであろうほど、S F映画の製作はモリモリのザクザク。つまるところS Fは映画の興行に損のない宝の山。

ついに今も電話がかかり見も知らぬお人から「タワー・リング・インなんとかちゅうのは見て面白いですか？」の御質問。これはS Fとは申せぬが、このバニッシュ映画の流行もS Fとは血をつなないだ兄と弟。見るのがこわく見れるのが面白く、しかもやがてこれが現実に。

と申せばS Fで未来は天国は一本もない。S Fのすべて、これ末来は地獄じゃ。それを見にゆくこちとらの哀れ。しかも半ば信じて口を開けての驚き。ああ人間とは善なるかな。

さて人間サマはこのS Fに対し、いかなる人間自身の進歩発展その悲劇その感激を抱きしや。
ところで今をさる七十九年のその昔。エジソン会社が『接吻』と題し、画面上に夫婦の正しきつましまき接吻そのまま公園のベンチにおいて見せしところ、これがアメリカでびっくり仰天。たちまちここに検閲なる黒き手が伸びた。

タイムをさらにとばしてウイリアム・ワイラー監督一九三六年作「この三人」こそは実はレズを描かんとして

▲タワーリング・インフェルノ

アメリカ当局に睨まれ、これを「この三人」(ジーズ・スリイ)と、女二人男一人の関係に変えての苦心の映画化。これがよほど口惜しかつたか、ワイラーはこれより二十五年再びこれを「噂の二人」(一九六二)これを見て、なんたちがここに「噂の二人」(一九六二)これを見て、なんだレズじやないか。もはや二十五年の時の流れの今にいたってはもう驚かぬ。

ヘディー・ラマーンのウイーン生れの女優、最初その名ヘディー・キースラと称し、チエコ映画「春の調べ」(一九三二)に主演。この原名「エクスター」。これがヌード第一号。彼女全裸で馬に乗る。あれまあイヤラン。あれまあオモシロイ。大評判。ところが日本では神を恐れぬ破れんち映画とバサリグサリの大カット。これが今をさる四十年前。

それが今やオール・ホモの「真夜中のバー」、ヌードどころか「エマニエル夫人」。

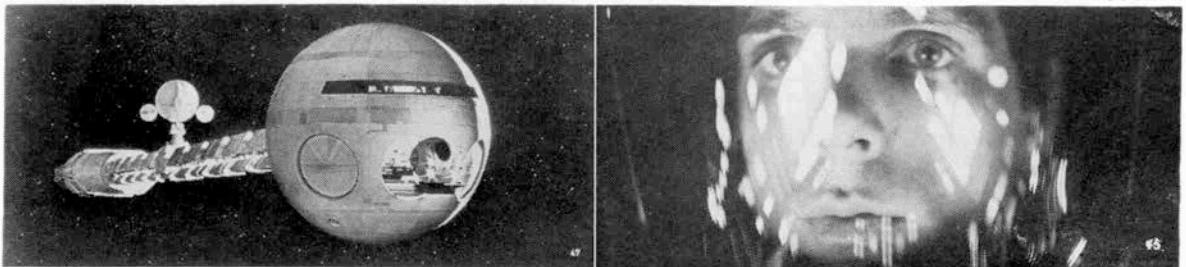
思えば科学のそれのSFは、映画に未来を示しもするが、人間サマその精神その神経その道徳のワクの未来図は映画検閲ある限り作ることままならない。

ところで六月初めニューヨークに旅をして、そのマンハッタンのタイムズ・スクウェアの真只中で三年ロングランの「ディープ・スロー」。

毎年この地に行くも今さらこの年さらして「ディープ・スロー」でもあるまいと、そこをよけてはいたものの風の便りにこれを輸入と聞かされて、さてどこをどうカットするであろうかとひるの一時にチラと覗くや、二〇〇人劇場に見物約四〇名。さてその映画聞きしにまさるその派手さ。チラと見えますに非ずして見せます動かします画面いっぱい男性自身。ひるの日なにこれ見るアホら。

お前(私)もじやんか。というわけで人間サマのその精神感覚SF的足どりのそのスピードも科学に負けぬラニング。

▼2001年宇宙の旅



女体の歌

37

H・ジュニア
え・浅野俊一

女ドラキュラ

ドームの中は暗く、紫煙が立ち込め、かき鳴らす狂気のギターに乗って、一陣の風と共に、一人の修道僧のような、深刻な面持の男の踊り手が、タタタタタと、登場すると、堂内、にわかに妖氣と殺氣が流れた。

男は、必死に足を踏み鳴らし、身をねじり、くねさせて、我身を亡びに導く最大の敵、性の慾望と戦っているのであるうか？ 汗と血と砂にまみれ慾望に身をこがし、七転八起の末、魂が救いを見出したその高貴な一瞬、踊り手の肉体は、抜けがらのように舞台の上に停止し虚立しているに過ぎない。

H・ジュニア氏は、フランコの踊り手ではないので踊つて悟りを聞く訳にいかぬ。従つて、次々と登場する女性の踊り子の品定めに、どうしても忙がしくなる。

スペイン女は、蔭のないパリジャンヌと対照的に、全身蔭だらけだ。鼻異様に高く、ひたい秀で、頭髪をひき

つめた頭がい骨はかつこいいが、目も髪も黒、肌も浅黒く不潔に見える。アラブの血が交っているからかもしれない。ギリシャ女と同様だ。一般に「女は不潔だ」と言つた古代ギリシャの哲人プラトンの言葉の意味が、ここまで来て何となく分った気がするのも不思議だ。

スペイン女は、笑つても、ドイツ女の明朗な清潔さはない。逆に言えば、きたなくよごれた魅力を持つている。くずれた魅力だ。

日本女がよごれると、あわれで悲惨だが、スペイン女は、よごれて不潔で、かえつてたくましい。肉体労働者のよごれ方だ。

H・ジュニア氏は、不潔な蔭を嫌いながら、かけりの魅力、否、魔力のとりこになつてしまつたのである。肩に垂れた黒髪の奥に輝く黒ダイヤのような目がスゴイ。色黒で面長で、やせたボオが素敵だ。口元も縮まつている。さぞかし、あそこも縮まつているに違いない。

しかも、スラリと伸びた長い脚を見事にあげてフランコを踊るのだからたまらない。

一人の踊り子が、H・ジュニア氏のハートを射てしまつた。H・ジュニア氏ならずとも、男は、こういう女の挑発には極めて弱いのだ。

H・ジュニア氏は、友達との約束までスッポかし、三日三晩通いつめて、遂に、三晩目に、彼女を、彼女のアバルトマンで抱かせてもらえるまで行つたのだが……。何と彼女はメンスで、その夜、フランコを休んでいたのである。

香がたかれ、ムして、スエた臭氣と入り混つて、狭く暗い女の寝室に漂つてゐる。

「メンス中だから、ちょうどいいわ」と、彼女は言う。妊娠しないから、ジカにやつてもい

「さあ、早く！ 抱いて丁度！」
と言うのである。

一度に逆流し始めたのだ。

〈吸血鬼には、女もいるのか?〉

実際、彼女は、彼に尻を向けたかと思うと、逆向けにH・ジュニア氏に馬乗りになり、彼の血染めの男根を尺八し始めたのである。

ああ、何という凄絶さよ!

彼女は口のまわりから顔全体にかけて、真赤である。

自分の血を自分が吸うのだから勝手と言えば勝手だが、血と精液の混合液にヌルヌル光る珍棒をなめる姿は、正しく狼女の姿そのものであつた。

『オー、女ドラキュラ!』

と、H・ジュニア氏が内心叫んだとたん!

何という事であろう!

彼女のオマンコは、ガバリッとばかりいたのは浅学であった。り、彼の顔の上に落下し、彼の口を封じたのである。



事、ここに到つては、後へは引けぬ。

もともと、H・ジュニア氏は、いささかゲテ趣味の方も心得ている。どちらかと言えば、メンスの女を抱くなんて、好きな方なのだ。

「では……」

とばかり、勢に乗ったジュニアを血に染めて、一気加勢に挿入した。

大したにおいが、鼻先を襲う。

男根はもちろん、陰毛のつけ根から玉々の袋まで、血まみれにして、H・ジュニア氏は、ピストン運動を繰返し、行き着く処まで行き着いたのである。

ここまででは、まだ納得づくであつた。

しかし、次なる光景に接したH・ジュニア氏の血は、いか。

正しく、他人の血を吸う結果と相成ったH・ジュニア氏こそ、ドラキュラ族と戚戚になつた訳である。

吸血鬼は、ドラキュラ伯爵の城に出るとばかり思つていたのは浅学であつた。

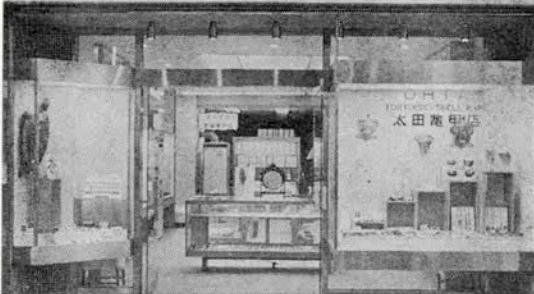
吸血鬼はスペインの性?なるサクランメンテの丘にも出たのだ。

H・ジュニア氏は、ここで、女ドラキュラに弟子入りさせられた訳であるから。

ホテルに帰つたH・ジュニア氏は、自分のパンツ姿を鏡にうつしてほくそえんだ。

よほど拭いたつもりが、まだボツと赤く、局部の処が、ドラキュラの血でうつすら染まつてきているではな

太田鼈甲店

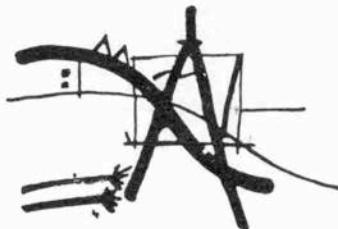


べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331-1309・6243

KOBE SHOPPING GUIDE

お
す
し
て
ん
ぶ
ら



榮
舖



本店

大丸前・三宮神社東
TEL(331)557732

支店

さんちか味のれん街
TEL(391)5233
(毎週水曜日休み)
第3
3
水
曜
日
休
み
5
6
7
7
3
4

営業時間
A.M.11.30～P.M.9.00

高級紳士服専門店

神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL(391)0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL(331)2817・3173



おもちゃの

水がうれしい夏！
チビッコあつまーれ。

サハ元元三さ宮
ン戸ン町んち
こ駅フ町方宮ち
う前ウ面か
べ方店店の
店面
店で元元おセ
神の町買シタミリタウン
戸お通三丁目山側
駅前地
街
合三五
一六〇〇二
合三九
一四九六九
合三九
一〇〇九〇
合三九
一〇〇六八



三恵



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

KOBE SHOPPING GUIDE

三宮センター店

- 3階** レストラン
- 2階** 喫茶・パーラー
- 1階** 洋菓子
アイスクリーム
- 地階** 喫茶室



皆様そろってぜひご利用

下さいませ

北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市東灘区北野町1の8(市立美術館東隣) TEL 221-1164

■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421

でんわ・
321 321 331
一〇六三七一
六三四五コバヤシ
三宮

三宮

やつぱりうまい
むさしのどんかつ